

ROU  KEN

ネモフィラ(瑠璃唐草) Nemophila

国営ひたちなか海浜公園での一面に広がる青い絨毯のような景色は、例年メディアでも話題になり、多くの人がネモフィラ畑を一目見ようと足を運んでいます。

花びらの中の澄んだブルーのグラデーションがとても美しく、森の妖精のように愛らしく、春の花壇やコンテナの寄せ植えなどにも多く利用されています。花径は2cmくらいで、白に空色または青紫色の深い覆輪があり、中心部に黒い点が5つあります。花名に「林を愛する」の意味があるように、日照が多く冷涼な気候を好みます。

青色のネモフィラの花言葉は「どこでも成功」「可憐」「あなたを許す」などがあります。アメリカ原産のネモフィラはヨーロッパに渡ってもしっかり現地に根付いたことから「どこでも成功」という花言葉もつけられたといわれています。「可憐」は、もちろんその見た目から。「あなたを許す」はちょっと悲しいギリシャ神話が由来のようです。

「可愛い」だけじゃなく、強い生命力も持ち、多少の日陰やアスファルトの間隙でもへっちゃら。厳しい環境でもぐんぐん育っていく丈夫な一面も持っています。

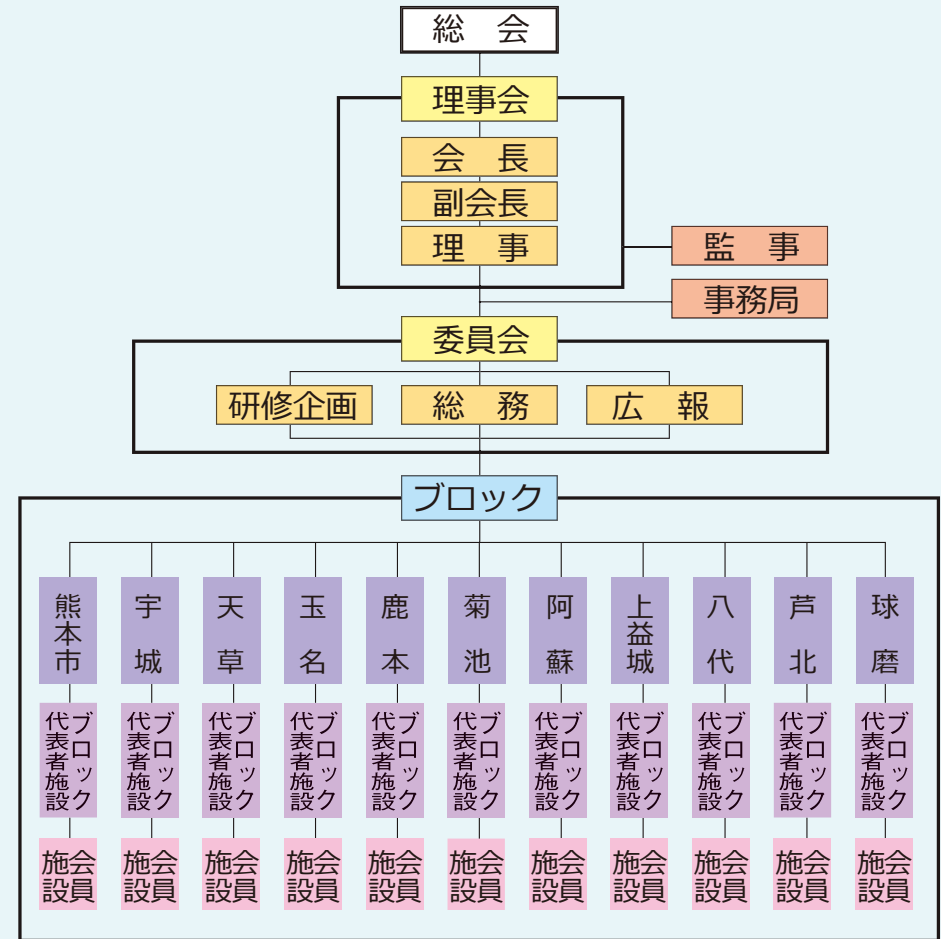


ネモフィラの和名は「瑠璃唐草」は、春に咲く雑草「オオイヌノフグリ」(円内の写真)の別名でもあります。道端や野原でよくみかける、花びらが4枚のとても小さい花です。確かによく似ています。

同じ別名「瑠璃唐草」を持ちますが、ネモフィラとオオイヌノフグリは全く別の植物。でも、強い生命力を持つ青い可愛い花というのは一緒です。

一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図



- 総会 通常総会年1回6月に開催、臨時総会は必要に応じて開催。
- 理事会 通常理事会(年2回の開催、6月、3月)
臨時理事会(必要に応じて開催する。)
- 委員会 ●総務委員会 理事会の指示のもとに会務全般の庶務を行う。具体的には事業計画の立案、実施状況の把握、老健運営上の課題の整理、県担当部局との調整など。
●研修企画委員会 年間を通しての研修の企画、講師の選定、研修の運営、研修の評価等。
●広報委員会 広報誌の発行、ホームページの作成、会員への情報伝達方法の検討。
- 各ブロック 地域振興局単位で意見の集約を図り、老人保健施設の立場から地域の活動に協力していくために、熊本市及び地域振興局単位でブロックを編成する。
施設間、職種間での意見の交換を行い、課題の整理と活動を行うこととする。

目次

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図・目次2

地域医療への三つの思い 理事 小田 哲也3

令和4年度 表彰受賞者4~5

研修会報告 令和4年度 職員基礎研修会6~7

研修会報告 2022年度 BCP支援セミナー8

研修会報告 令和4年度 熊本県老人保健施設大会9

熊本県老人保健施設協会会員施設10~11

お知らせ・編集後記12

地域医療への三つの思い

一般社団法人熊本県老人保健施設 理事 小田 哲也



三点だけ述べてみたいと思います。

(Ⅰ) 2020年2月、熊本県内で新型コロナウイルス感染者が報告されて、3年余り。先生方と同様、当方も新型コロナウイルス接種や発熱外来に努めてきました。最近はやや疲れた感じがします。感染症分類が2類から5類になったところで(複数疾患を有する)高齢者の死亡率は極めて高く「インフルエンザ」よりは思えません。当方法人の有床診療所(内科・透析)と老健を含む4介護施設では2回クラスターを経験しましたが、幸い死亡者は出さず済みしました。しかし、経験上新型コロナウイルス感染症は高齢者・非高齢者で全く別の病気に思えてなりません。高齢者・基礎疾患を有する感染者は2類のままにはできないのでしょうか? だめなら高齢感染者は自己負担無し・加算維持をお願いしたいところです。

(Ⅱ) さて、3年にも及ぶコロナ禍ですっかり忘れられた感のある「地域包括ケアシステム」ですが、今後も進む高齢化と多死社会を乗り越えるため「国策」として「地域包括ケ

ア」がスローガンとして掲げられました。具体的には、①高齢者、要支援・要介護者の生活支援、②認知症の方々を地域で支える、③終末期医療や看取りが考えられます。要するに、医師とケアマネを中心にして多職種共同、医療保険・介護保険の2本立てで地域高齢者を支えなければならぬと思います。老健は、このシステムの中核をなすことができる施設であり、働き甲斐のある役割を与えられていると思います。たぶん「地域」ことの医療資源・介護資源・行政の差は大きく、十分な「ケアシステム」は「不十分なケアシステム」が生じると思っています。「不十分な」地域では、老健の働きは重大です。

(Ⅲ) 「地域包括ケア」と一心同体(コインの裏表)の「地域医療構想」についてです。

先生方の中にも「地域医療構想調整会議」の委員を務めておられる方もいらっしゃると思います。全国共通の公式に当該地域の人口・有病率・年齢構成などを代入し、当該地域の「必要病床数」を算定し、「地域の実情に合わせる」ことができるだけ「必要病床数」に近づけるための会議です。ごく一部の地域を除いて全国ほとんどの地域が、「病床過剰」と判定されま

す。病床機能を明確化(超急性期・急性期・慢性期・回復期)すれば、病床数を適正化(削減)できるとの理論のもと少しずつ適正化が進んでいます。コロナパンデミック以前に、厚生労働省より(ベッド利用率が低く経営努力が足らず病院機能が重複するなどの理由で)整理統合しても良いのではと思われる(病院が全国紙等で公表されたことは、先生方も記憶に新しいことと思います。(平時であれば)理論的には正しくても、今般のような新型コロナウイルス感染症パンデミック発生のようにより、予測できない急激な医療需要の高まりに対応できる体制を確保する必要があるのではないかと思います。「国策」ですので仕方はありますが、地域医療構想調整会議の委員の一人として発言だけしようと思っております。

以上、拙文を思いつくまま書き連ねましたが、先生方と同様、老健運営に精進し、地域リハビリに貢献したいと思っております。

この年齢になっても、未熟のうえ浅学・非才の者ですが、巡り合わせて熊本老健協の理事となりました。今後ともよろしくお願いたします。



令和4年度 表彰受賞者

受賞者挨拶

全老健会長表彰



リバーサイド御薬園 看護介護部長 三川 紀子氏

この度は、名誉ある賞を頂きまして、誠にありがとうございます。
この様な表彰を受けることができたのは、老健でのやりがい、楽しさ、厳しさなど、これまでご指導くださった先生方やスタッフの皆様のご協力があるからこそだと大変感謝しております。
今後も、ご利用者様に満足して頂けるようなサービスの提供ができるように努力を重ねていきたいと思っております。



リバーサイド御薬園 リハビリ次長 緒方 まゆみ氏

この度、全老健会長表彰をいただきまして誠にありがとうございます。今回の受賞に関しましては、先生方やスタッフの皆様のご指導、励ましがあってのことと感謝いたしております。当施設で作業療法士として、時には支援相談員として二十数年勤めて参りました。二十数年前と現在では老健の姿も自分の役割も変わってきていると思います。自分の役割を自覚し、微力ではありますが当施設並びに全老健協会がますます発展できますよう努力してまいりたいと思っております。



青翔苑 支援相談員 主任 石田 薫氏

この度は名誉ある賞を頂きまして、誠にありがとうございます。
このような表彰を頂いたのも、貴重なご助言やご指導をくださった金澤理事長をはじめ上司、先輩方、スタッフの皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。これからも、地域に開かれた老健の相談窓口として、ご利用者、ご家族に寄り添った支援相談員であり続けられるよう、熱意を失うことなく精進を重ねてまいります。ありがとうございました。

県老健会長表彰

- | | | |
|-------------|-------|----------|
| ● 青翔苑 | 理学療法士 | 鈴木 圭 様 |
| ● あさひコート | 看護師長 | 岡本 かおる 様 |
| ● 孔子の里 | 介護福祉士 | 渡辺 弘美 様 |
| ● 孔子の里 | 准看護師 | 古閑森 英美 様 |
| ● 孔子の里 | 看護師長 | 溝口 美佳 様 |
| ● リバーサイド御薬園 | 介護福祉士 | 北川 圭 様 |
| ● リバーサイド御薬園 | 言語聴覚士 | 兼田 洋美 様 |
| ● リバーサイド御薬園 | 看護師 | 中村 千恵子 様 |

厚生労働大臣表彰



介護老人保健施設 リバーサイド御薬園 管理栄養士 主任 平田 利美氏

この度は、大変名誉ある賞を頂き誠にありがとうございます。長年にわたって管理栄養士として勤務できたことは、山田会長はじめ老健で働く職員の皆様のおかげであると感謝しております。
リバーサイド御薬園では、開設当初から令和2年7月まで給食サービスの一つにその場で選ぶ選択メニューを実施していました。今振り返ってみると、ご利用者とのかかわりや老健で働く管理栄養士として考えなければならないあらゆることを、選択メニューを通して経験させていただいたことは大きく、それらの様々な経験は私にとって大切な宝物になっています。今後も微力ではございますがご利用者様が住み慣れた地域で生き生きと生活できるよう、お手伝いをさせて頂きたいと思っております。

全老健会長表彰



ぎんなんの里 理事長 上野 博久氏

この度は全国介護老人保健施設協会会長賞という名誉ある賞を頂き、心より感謝申し上げます。
開設以来、自分の出来ることを粛々とやってまいりました。29年の時があっという間に流れましたが、これからもコロナという手強い相手に負けず、常に利用者、その家族や地域の方々が必要とされる介護老人保健施設を目指し、施設長をはじめ職員と共に頑張っていく所存です。この度は、誠に有難うございました。

ぼたん園 理事長 富島 三貴氏



この度の表彰ありがとうございました。
ぼたん園は、みゆきの里という医療・介護複合施設群のひとつで、1994年に開設しました。創業より一貫して「福祉の原点は在宅にあり」という理念のもと、包括的リハビリテーション施設として在宅生活支援に努め、熊本地震の際、福祉避難所としての役割を果たした事も受賞に繋がったことと思います。偏に全職員がご利用者の喜びの為に心を尽くしてきた賜物であり、この度の表彰は職員を代表して受賞させて頂きました。引き続き在宅復帰強化型老健としまして更に精進してまいります。

令和4年度 職員基礎研修会 開催

ホテル

令和4年6月30日(木)・7月14日(木) 於..熊本テルサ

オンライン

令和4年度 職員基礎研修会が6月30日・7月14日の2日間、オンラインで開催されました。介護老人保健施設で働くにあたって意識するべき点や、新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症予防について、6つのテーマで講義いただきました。



1日目、6月30日の研修会では冒頭に、山田会長より開会の挨拶をいただきました。

「新型コロナウイルス感染症の蔓延によって、ほとんど研修会ができておりません。昨年いくつかオンラインで研修させていただきましたが、なかなか従来通りの集合ができないという状況が続いております。各施設の皆さんも、気が抜けない状況が続いていると思います。ご承知のように、施設によるクラスターもまた発生していますので、しばらくの間、予防に徹底していただきたいと思えます。施設の安全と、皆様の健康を心からお祈りして、本日の開会の挨拶にさせていただきます。」と締めくくられました。

1時間目の講義では、フォレスト熊本、高木科長より、「認知症高齢者の理解とケア」についてお話いただきました。認知症という言葉に注目するのではなく、その人らしさに注目

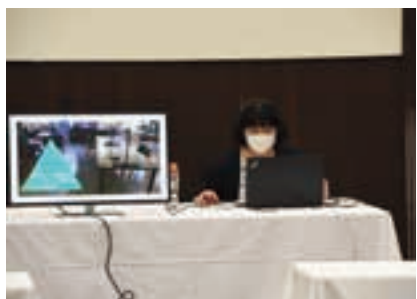


フォレスト熊本 高木科長

するというパーソン・センタード・ケアの考え方を意識しながら日頃のケアに取り組んでいただきたいと思います。

た。感染予防の3つの柱について具体的なケアの内容や施設の風景をあげながら、感染予防の観点から見たケア時の注意点を話されました。BCPのフローチャートといったものも、感染が発生した時の対応方法、感染を拡大しないための方法、平常時に行う対応というところまで、いざという時のために作成して職員が理解しておくことが必要とお話いただきました。

3時間目の講義では、「身体拘束・虐待防止について」とい



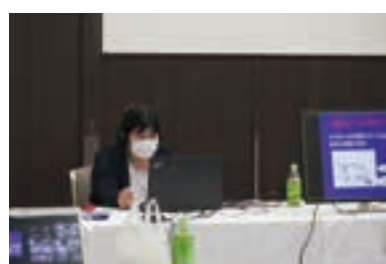
メディアイト鶴翔苑 原田師長



メディアイト鶴翔苑 PT萩原様

うテーマで、メディアイト鶴翔苑PT萩原様にご講義いただきました。身体拘束については、具体的に介護施設で身体拘束を疑われる例を挙げてお話をいただきました。高齢者虐待については、介護施設事業者として高齢者虐待の早期発見に努め、また施設でのケアにおいても、不適切なケアについて考え、明日からまずは自分の行動を変えていくことが必要だとまとめられました。

2日目の7月14日、最初の講義は、「摂食・栄養障害について」。白藤苑、田尻栄養管理部部長よりお話いただきました。食事摂取状況をよく観察し、どこにどのような問題がある

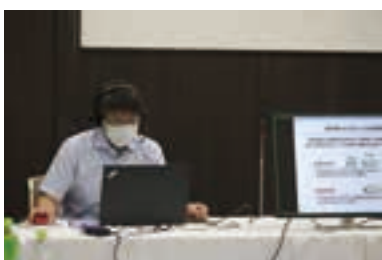


白藤苑、田尻栄養管理部部長

から口から食えることができないのか、どうすれば食べられるのか、どのような調理方法がいいのかを導き出していくことが大事になるため、利用者の摂取状況を日頃からきちんと見るためにも「栄養士の業務」と思わずに一緒に考え協力していただ

きたいと話されました。

次に、清雅苑の當利リハ部主任より、「生活リハビリテーションの視点」ということでお話いただきました。その人らしさをチームで支援していく過程やプロセス、取り組みといった生活リハビリテーションの視点とし



清雅苑の當利リハ部主任

て、利用者本人や家族の意向に十分耳を傾け、ケアプランに反映させることが重要と話され、そのためにも生活行為を職種により分担するのではなく、全過程をそれぞれ専門職種の視点で途切れなく連携していくことが非常に重要だとまとめられました。

最後に、「老健における多職種協働について」、なごみの里、西田事務長にご講義いただきました。多職種がそれぞれ役割を持って、利用者を真ん中にしたドーナツ型のイメージで円を描くようにチームを作り、協働していく。それを束ねるのがケアプランだということを日々意識していただきたい。老健の役割や理念について理解し、誰のため何のために目の前のケアを行っているのかということや、少し見直ししながら、老健という形のなかでそれぞれがやれることを考えて欲しいと話されました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、感染予防・感染対策に気を配る状況が続きますが、この研修会で学んだ内容を意識して、日々のケアに活かしていただきたいと思います。



なごみの里、西田事務長

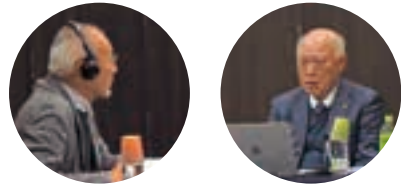


令和4年度 熊本県老人保健施設大会 開催

令和5年3月2日(木) ホテル熊本テルサ

研修会報告

令和5年3月2日、熊本県老人保健施設大会が開催されました。年末年始の新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、ZOOMを使ったオンラインでの開催となりました。



金澤副会長



山田会長

開会の挨拶として、県老健・山田和彦会長は、「新型コロナウイルス感染症は、5月8日付で感染症法の位置づけが2類

から5類に緩和され、それに伴い第9波・第10波と続くことになった場合に、施設に持ち込まないようにすることも含め、気を引き締めていかなければいけない。ポスト新型コロナの時代を迎え、老健施設はどうするのか、新型コロナ対策、また、未知の感染症の蔓延に対応するためにも大変役に立つようなお話が聞けることを期待している。」と述べられました。

特別講演では、「新型コロナウイルス感染症の流行によって閉鎖的になってしまった老健施設が、本来の基本理念である地域に根差した活動を行っていくために、ウィズコロナ・ポストコロナ時代にどう運営していくのか。今回、介護保険制度下での運営経験・取り巻く環境の変化とコロナで学んだことから改めて考えると、これだけの課題がある。」と、右の項目を挙げられました。

- ・介護現場における人材(確保・処遇)
- ・老健における医療提供体制の再検討(医療保険との関係)
- ・運営基準
- ・DX/GX(時代の流れ)
- ・人員基準
- ・介護報酬
- ・診療報酬での位置づけ
- ・施設サービス・在宅サービスの考え方

県老健・金澤知徳副会長からは、「今後入る仲間のために処遇改善をすることも大切」とした上で、「現在の職員の離職や疲労を、どのようにクリアしていくかは大きな要素で、職員のやりがいとワークライフバランスをどう作るか、老健施設ならではの専門性やケアアプローチを職員がわかりやすく明らかにしていくということ。一つひとつの仕事の手軽さと仕事そのもので疲れることのない職場づくりも非常に重要。職員がプライベートな関わりの中で「うちにおいでよ」という言葉が出るような職場になっていくことが、我々が取り組むべきことだと思う。」と締めくくられました。

演題発表では、6つの題でそれぞれ5分程度の発表を行いました。



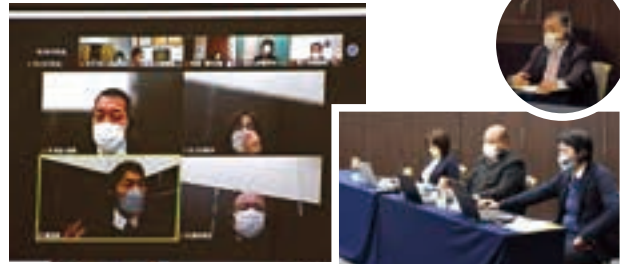
演題発表

- 「当施設における新型コロナウイルス陽性者発生時の対応」
介護老人保健施設サンライズヒル 園田達也
- 「新型コロナウイルス感染症が発生!どうする!」
～当施設における感染症対策の振り返り～
介護老人保健施設シルバーピア水前寺 工藤美幸
- 「当施設でのコロナ禍における面会制限に対する取り組み」
～3年間の振り返りと今後の課題～
介護老人保健施設清雅苑 牧純希
- 「コロナ禍におけるレクリエーションについて考える」
介護老人保健施設リバーサイド御薬園 元田香織
- 「私達のSDGsへの取り組み～こんなに無駄があったとは～」
介護老人保健施設慈恵苑 柴田久美子
- 「高齢者の歩行補助具の種類を分ける身体機能の検討」
介護老人保健施設ぼたん園 下田絢介

その後、「ウィズコロナ・ポストコロナ時代に“思うこと、展望、課題”など」というテーマで、熊本県老人保健施設協会、矢野副会長を座長にパネルディスカッションを行いました。パネラーは、聖ルカ苑副施設長の黒田直氏、ぼたん園通所リハ室長代理の里井浩之氏、リバーサイド御薬園看護介護部長の三川紀子氏の3名。それぞれ、支援相談員、理学療法士、看護師といった立場で、新型コロナウイルス感染症への対応から考えたことや、これからの対応についてお話いただきました。

表彰では、リバーサイド御薬園の元田香織さんの「コロナ禍におけるレクリエーションについて考える」が最優秀演題に選ばれました。矢野副会長より表彰があり、閉会となりました。

パネルディスカッション



パネラー

表彰



矢野副会長

研修会報告

介護事業におけるBCPは、2024年より本格的な義務化がスタート

2022年度 BCP支援セミナー 熊本 開催

Business Continuity Plan = 業務継続計画

令和4年11月8日(火)・11月9日(水) 於:熊本県医師会館



全国老人保健施設協会
安全推進部会長
山野 雅 弘 氏

全国老人保健施設協会主催・BCP作成の支援セミナーが、熊本県医師会館にて開催されました。各施設のBCP作成に係る職員、計21名が参加し、2日間にわたってグループワークなどを行いました。

8日は、全国老人保健施設協会安全推進部会長の山野雅弘氏の挨拶から始まり、「BCP作成について」という題でミネルヴァベリタス株式会社の本田茂樹氏に講義をいただきました。「認識していないことには備えられない」というスライドからスタートし、「最初から完璧なものを作成しないといけないということではなく、小さなところから進めていくことが大事」と締めくくられました。その後は、MS&ADインターリスク総研株式会社の方の進行で、作成グループワークと称し、自然災害と感染症の2つのBCP作成演習を行いました。

9日は訓練グループワークから始まり、自然災害・感染症の発生時というシチュエーションで図上訓練の演習を行いました。また、総合補償制度についての講義やDMSPについてのグループディスカッションなども実施いただきました。既にBCPを策定している施設やこれから作成する施設など、施設間の交流も行うことができ、有意義なセミナーとなりました。



ミネルヴァベリタス株式会社
本 田 茂 樹 氏



グループワーク・グループディスカッションの様子

作成グループワーク
(自然災害/感染症)



訓練グループワーク
(自然災害/感染症)



MS&ADインターリスク
総研株式会社 講師



総合補償制度について

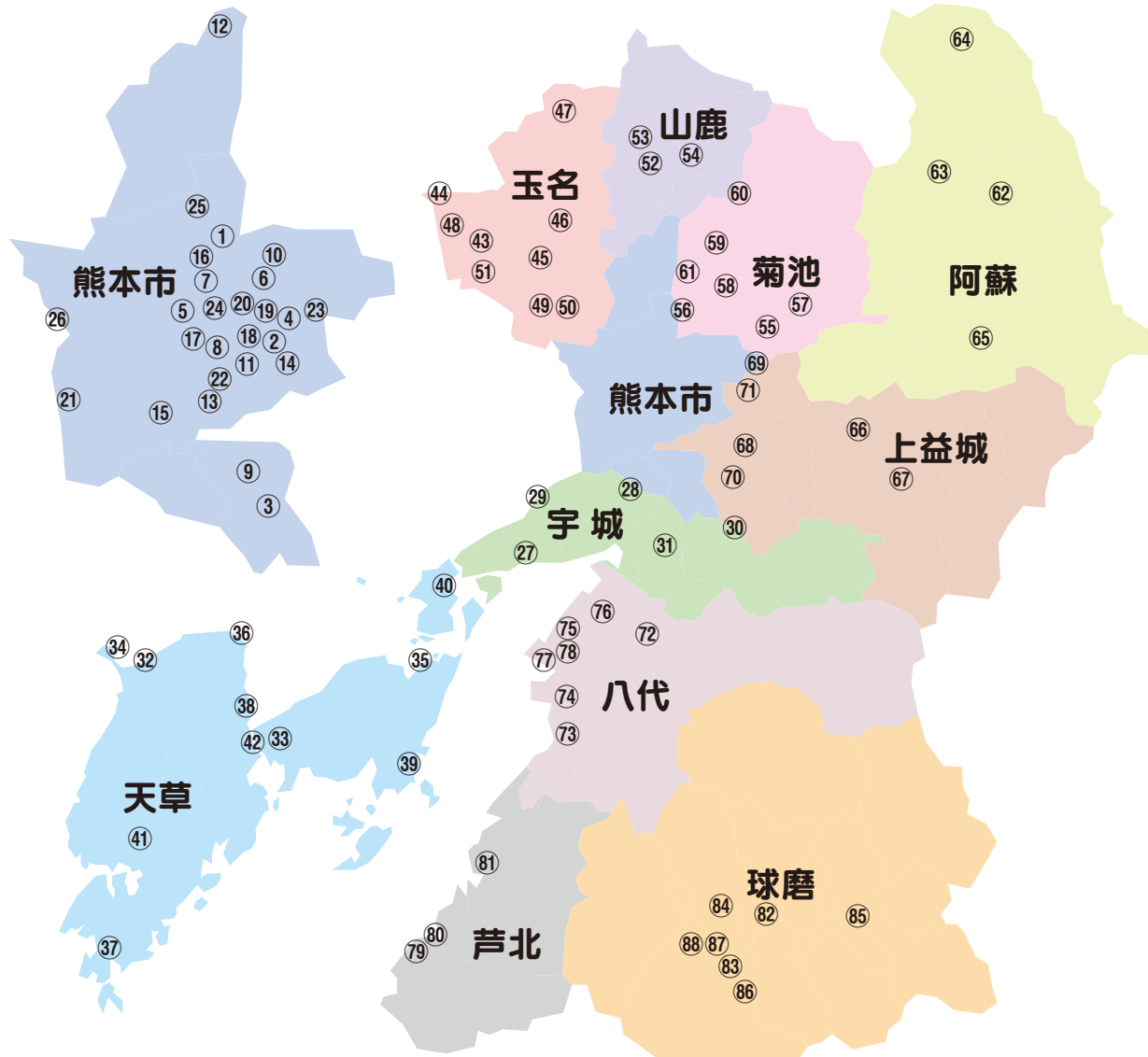
🐣 熊本県老人保健施設協会会員施設 🐣

- ①清雅苑 熊本市北区山室6丁目8-1 096-345-8112
- ②コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目3-12 096-384-8088
- ③桔梗苑 熊本市南区城南町沈目1481 0964-28-6811
- ④レ・ハビリス桜十字熊本東 熊本市東区三郎1丁目12-30 096-385-6262
- ⑤青翔苑 熊本市西区島崎2丁目21-10 096-359-5377
- ⑥阿房宮 熊本市北区龍田陳内1-3-20 096-337-1111
- ⑦杏の里 熊本市西区池田1丁目14-78 096-351-2788
- ⑧南楓苑 熊本市中央区南熊本2丁目11-1 096-371-5111
- ⑨光乃里 熊本市南区城南町今吉野972 0964-28-8000
- ⑩ぎんなんの里 熊本市北区楡木1丁目3-70 096-337-2700
- ⑪湧心苑 熊本市中央区出水4丁目15-30 096-371-4165
- ⑫ケアビレッジ箱根崎 熊本市北区植木町正清888 096-274-7700
- ⑬ぼたん園 熊本市南区御幸笛田6丁目8-1 096-370-1222
- ⑭第二コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目8-8 096-360-3111
- ⑮白藤苑 熊本市南区白藤5-1-1 096-358-7200
- ⑯みつづ苑 熊本市北区貢町135 096-323-6123
- ⑰のぞみ 熊本市中央区本荘3丁目7-18 096-371-3399
- ⑱シルバーピア水前寺 熊本市中央区水前寺5丁目2-22 096-384-3399
- ⑲メディエイト鶴翔苑 熊本市東区保田窪本町10-112 096-387-8181
- ⑳フォレスト熊本 熊本市中央区渡鹿5丁目1-37 096-363-0101
- ㉑なすび園 熊本市西区沖新町3353 096-329-5666
- ㉒田迎ケアセンター 熊本市南区出仲間5丁目2-2 096-378-2223
- ㉓ケアセンター赤とんぼ 熊本市東区戸島西2丁目3番10号 096-331-3737
- ㉔なでしこ 熊本市中央区北千反畑2-5 096-343-7450
- ㉕かなこぎ苑 熊本市北区硯川町768-1 096-275-2788
- ㉖葵の森 熊本市西区松尾町近津1480番地 096-311-4004

- ㉗青海苑 宇城市三角町郡浦739-8 0964-54-1311
- ㉘あさひコート 宇土市旭町106番地 0964-23-5211
- ㉙景雅苑 宇土市上綱田町3676 0964-27-1708
- ㉚なごみの里 下益城郡美里町堅志田192-1 0964-47-6011
- ㉛松幸 宇城市松橋町西下郷544 0964-32-5516

- ㉜慈恵苑 天草郡苓北町上津深江278-10 0969-37-1567
- ㉝本渡ケア・ホーム 天草市下浦町2090-1 0969-24-3331
- ㉞臥龍園 天草郡苓北町富岡3273番地2 0969-35-1530
- ㉟松朗園 上天草市松島町今泉32-1 0969-56-3111
- ㊱ブルーマリン天草 天草市五和町御領9133 0969-32-2112
- ㊲ケアセンター鶴丸 天草市久玉町62-1 0969-72-6072
- ㊳天草中央総合病院附属 天草市東町101 0969-22-2111
- ㊴きららの里 上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19 0969-62-1123
- ㊵ほんごう苑 上天草市大矢野町登立8607 0964-56-5110
- ㊶ケーナ・ガーデン 天草市河浦町河浦4778-3 0969-76-1808
- ㊷夢織りの里天草 天草市楠浦町字掛場59番5 0969-22-8288

- ㊸聖ルカ苑 玉名郡長洲町宮野2772-10 0968-78-5521
- ㊹慈眼苑 荒尾市増永708-2 0968-64-1018
- ㊺樹心台 玉名市伊倉北方272 0968-73-4165
- ㊻ゆうきの里 玉名市上小田1063 0968-74-0666



- ㊼清風苑 玉名郡和水町上板楠1697-1 0968-34-3700
- ㊽平成ドリーム館 荒尾市水野1556 0968-68-7770
- ㊾星雲荘 玉名市横島町横島3384 0968-84-3717
- ㊿てんすい倶楽部 玉名市天水町部田見1214-15 0968-71-5600
- ①幸 玉名市岱明町鍋1831 0968-57-5105

- ②希望の園 山鹿市山鹿369 0968-44-2100
- ③山鹿リハビリセンター 山鹿市熊入町313 0968-43-4370
- ④太陽 山鹿市鹿本町津袋654-1 0968-46-6111

- ⑤サンライズヒル 菊池郡菊陽町曲手760 096-232-5656
- ⑥桜の里 合志市須屋702 096-343-8377
- ⑦おおつかの郷 菊池郡大津町陣内1165 096-294-1500
- ⑧ひらせ記念リハビリ苑 合志市福原3111 096-248-7100
- ⑨孔子の里 菊池市泗水町福本904-1 0968-38-5666
- ⑩リハビリセンターきくちの里 菊池市大琳寺123 0968-23-7721
- ⑪有隣 合志市野々島字東原4414-17 096-242-5050

- ⑫阿蘇グリーンヒル 阿蘇市一の宮町宮地121 0967-22-0500
- ⑬愛・ライフ内牧 阿蘇市内牧1105-1 0967-32-5511
- ⑭おぐに老人保健施設 阿蘇郡小国町大字宮原1742-1 0967-46-6111
- ⑮リハセンターひばり 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2044-2 0967-64-8000

- ⑯彩雲苑 上益城郡山都町北中島2701 0967-75-0222
- ⑰ライフライト矢部 上益城郡山都町下市60 0967-72-1110
- ⑱御船清流園 上益城郡御船町御船1062-1 096-282-1616
- ⑲平成唯仁館 上益城郡益城町宮園字三の迫1139-1 096-286-0666
- ⑳ナーシングケア緑風苑 上益城郡甲佐町白旗271 096-234-3788
- ㉑ケアポート益城 上益城郡益城町安永1030 096-289-0777

- ㉒八祥苑 八代市氷川町早尾132 0965-62-4818
- ㉓ハピネスケア日南 八代市日奈久塩北町2922 0965-38-0700
- ㉔向春苑 八代市大福寺町2411-1 0965-33-8660
- ㉕アメニティゆうりん 八代市古閑浜町西塩浜3401 0965-33-8880
- ㉖かがみ苑 八代市鏡町塩浜235 0965-30-4000
- ㉗とまと 八代市郡築1番町180-1 0965-37-3737
- ㉘皇寿園 八代市高島町4218 0965-33-5545

- ㉙やすらぎ苑 水俣市浜4051 0966-63-8621
- ㉚白梅の里 水俣市浜4098-18 0966-63-3888
- ㉛新清苑 葦北郡芦北町大字芦北字塩屋田尻2727-1 0966-61-3055

- ㉜サンライフみのり 球磨郡相良村大字川辺1778 0966-35-0840
- ㉝リバーサイド御薬園 人吉市七地町495 0966-22-6811
- ㉞つつじのさと 球磨郡山江村大字山田字南永シ切1705 0966-24-9800
- ㉟シルバーエイト 球磨郡多良木町大字多良木4210 0966-42-5288
- ㊱タンポポ 人吉市下漆田町字後平1538 0966-25-1551
- ㊲愛生 人吉市南泉田町89 0966-28-3586
- ㊳もみの木 人吉市下林町232 0966-22-0200

●は令和5年度ブロック代表者施設です。

令和5年度 研修会企画

7月上旬	職員基礎研修会
9月	介護ロボット・福祉用具に関する研修会
12月	管理職員等研修会
3月	熊本県老人保健施設大会



プログラムの内容・時間は、変更になる場合がありますので、随時大会ホームページにてご案内いたします。

～新型コロナウイルス感染拡大防止対策～ **最新情報にご留意ください**

全老健ホームページにて随時更新中 <http://www.roken.or.jp/>

「お知らせ」→「厚生労働省からのお知らせ」→「介護保険最新情報」へ掲載

編集後記

振り返れば、やはり令和4年度もコロナ感染症の対応に追われた1年となりました。

しかし、3月に開催した、老健大会の特別講演、演題発表、パネルディスカッション等では、コロナ禍であっても様々な工夫をされ新たな施設運営について前向きな取り組み内容やチームで協力する姿勢など多くのことを学ぶことができました。

令和5年度こそは、今までの厳しい経験から獲得した感染症対策のスキルと多職種協働の強みを生かして、利用者も職員も笑顔でのびのびと、施設同士の繋がりも大事にしながら新しい年度に向けて皆で協力していきましょう！！

事務局長 梅田

広報委員 後藤 健(青海苑)
古澤 浩幸(湧心苑)
岩尾 英憲(山鹿リハビリセンター)

印刷：シモダ印刷株式会社

【広報委員募集中！】